

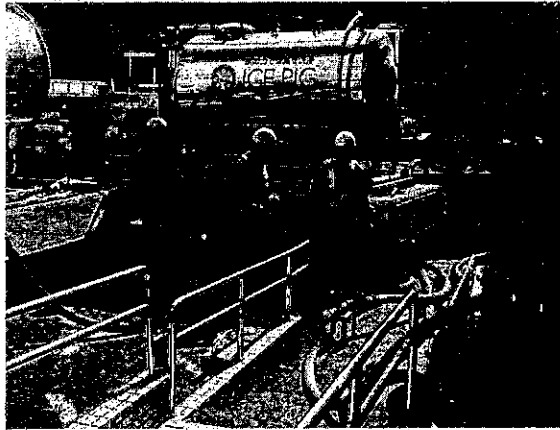
九州初の工法で洗浄

共栄環境開発 東部環境センター放流管

一・五キロ。

これまででは、スポンジのようなものを放流管に入れて水や空気で押し、薬液で洗浄してきたが、今回の新たな洗浄工法は特殊なアイスシャーベットを放流管内に注入して、汚れを落とす。堆積している砂や石などをシャーベット内に包み込んで排出する洗浄方法。

アイスシャーベットを造る専用の機械を積んだトラック二台が、同センターに配置され、放流管に水と人体に無害な氷点降下剤で造られた特殊アイス



機械を操作する作業員

大牟田市東部環境センターの放流管の洗浄業務を受注した共栄環境開発株式会社(久留須智子社長)は、新たな洗浄工法で放流管内を清掃した。九州では初めての工法という。同センターでは搬入さ

れた、し尿や浄化槽汚泥を水と汚泥に分離し、放流している。放流管の長さは

シャーベット四・四トン注入。放流管内の汚れがとれて真っ黒いシャーベットが回収された。